

## 視察研修報告

## 議会改革の取組みについて

議会運営委員会

## 地域「ミーティングの再編（小規模多機能自治）について

総務産業建設部任務員会

## 公共施設の統廃合について

文教厚生部任務員会

## 視察研究先

〇7月10日（木）岡山県美咲町

美咲町は、視察や研修ごとに成果を振り返り、議会だよりやウェブサイトを活用し、住民向けに内容を公開することで、説明責任の徹底を図っていた。本町議会でも、今後のタブレット導入を視野に「ICTを活用した議会運営」、「成果公開と説明責任」、「住民・若手の参画強化」などに重きを置き、議会の高度化や開かれた議会運営に努めていくとともに、児童・生徒による「こども議会」など、多世代・多主体の町民を対象とした事業を展開していくべきと感じた。

今後、議会として実施するそれぞれの事業が、次世代及び住民の参加促進策につながり、議員のなり手不足の一助になることを切に願う。



## 視察研究先

〇7月10日（木）岡山県美咲町

美咲町は、町を13のエリアに分け、各地域で「まちづくり協議会」を設立し、地域運営組織とともに地域の未来を住民自らが率先し話し合いを行っていた。また、各地域で中学生以上上の全住民にアンケートを実施し、地域課題の洗い出しと住民参画意識の醸成を図っており、その結果をもとに、「地域みらい計画」を作成し、

課題ごとに具体的な取り組み計画が立てられていた。これにより、住民の主体的な参画と、行政との協働を軸とした持続可能な地域づくりが進行中であった。



## 視察研究先

〇7月10日（木）岡山県美咲町

美咲町は、人口減少に直面する中でも「必要な機能は残す」、「住民サービスの質は確保する」という原則のもと、現実かつ大胆な公共施設再編に取り組んでいた。

統廃合の過程では、住民への丁寧な説明が功を奏し、最終的には町全体の一体感や効率的な行政運営に繋がっていた。

今後、本町における公共施設の統廃合については、住民意見を十分に聴取しつつ、持続可能な行政運営の観点で見直しを進めていく必要性がせつ、老朽化対策、財政負担減などの課題に 対応しながら配置の最適化等をす るべきである。



## 編集後記

今夏、8月5日群馬県伊勢崎市で全国1位の41.8度を、同日鳩山町で全国2位の41.4度を記録した。

35度を超える猛暑日も去年を超える模様である。「暑さ寒さも彼岸まで」のことわざは辛うじて維持された感はあるが、異常気象は否めない。地球温暖化による災害級の暑さ、豪雨被害、竜巻等も発生している。町としても早急な対策を講じていく時期にきている。

9月決算議会も特別委員会を経て慎重審議のうえ可決承認された。

中学生議会が10月末に予定されている。若者の貴重な意見を取り入れ、町がより良い方向に進んで行くことを願うばかりである。

議会報編集委員会	
委員長	杉田 健司
副委員長	小島 利枝
前田 栄	野原 和夫
小宮 正	和夫

この議会だよりは、議員の自主編集で発行しています。

防災行政無線テレホンサービス（無料）  
TEL 080-0800-8432（携帯電話からも可）

ときがわ町議会だより

